

平成 29 年 普及指導員資格試験 審査課題Ⅰ 【選択項目：作物】

1. 作物の作付体系の定義と目的について簡潔に説明しなさい。(250 字程度)

2. 次の用語の中から四つを選択して簡潔に説明しなさい。

(各 250 字程度、全体で 1,000 字程度)

- (1) 収穫指数
- (2) 葉色診断
- (3) 水稻の疎植栽培
- (4) 麦類の赤かび病
- (5) 豆類の中耕・培土
- (6) ばれいしょの浴光育芽（浴光催芽）
- (7) かんしょの挿苗方法とその特徴
- (8) 茶の生育に適した条件
- (9) 茶のせん枝技術
- (10) さとうきびのフェロモン剤を用いた防除
- (11) さとうきびの気象災害とその防止対策
- (12) そばの減収要因と対策
- (13) なたねの春まき抽だい性と品種選択

3. 次の設問に解答しなさい。(1,200 字程度)

担い手の高齢化等による農家数の減少に伴い、経営体の規模が拡大する傾向にある。そこで、具体的な作物を挙げて、あなたの地域における経営規模拡大の現状を簡潔に述べるとともに、生産、加工、流通、経営等の観点から課題と対策を説明しなさい。

平成 29 年 普及指導員資格試験 審査課題Ⅰ 【選択項目：園芸】

1. 野菜、果樹、花きのいずれかについて、接ぎ木が行われる品目を一つ挙げ、接ぎ木目的と接ぎ木方法について簡潔に説明しなさい。（全体で 250 字程度）

2. 次の（１）野菜、（２）果樹、（３）花きのうちいずれか一つを選択し、その用語群の中から四つを選択して、それぞれについて簡潔に説明しなさい。

（各 250 字程度、全体で 1,000 字程度）

（１）野菜

- ① 寒締め栽培
- ② 炭酸ガス施用のゼロ濃度差制御
- ③ 単為結果性
- ④ 緩効性肥料
- ⑤ 水耕栽培の NFT 方式

（２）果樹

- ① ニホンナシの自家和合性
- ② 根域制限栽培
- ③ 浮き皮
- ④ 1-MCP
- ⑤ 白紋羽病

（３）花き

- ① 従属品種
- ② 切り花の二度切り栽培
- ③ パットアンドファン冷房
- ④ ファイトプラズマ
- ⑤ 貫生花

3. 次の設問に解答しなさい。（1,300 字程度）

野菜、果樹、花きの一つを取り上げ、あなたの地域での産地の特徴と生産の現状を説明するとともに、その園芸作物の生産を振興するために必要な技術的方策及び消費を拡大するための方策について述べなさい。

平成 29 年 普及指導員資格試験 審査課題イ 【選択項目：畜産】

1. 次の用語について簡潔に説明しなさい。（各 200 字程度、全体で 1,000 字程度）

なお、（１）については必須課題として解答し、（２）については、①から⑨の用語群の中から四つを選択して解答しなさい。

（１）必須

消化率

（２）選択

- ① 牛の初乳
- ② 牛白血病
- ③ 硝酸塩中毒
- ④ LH サージ
- ⑤ 粗飼料のアンモニア処理
- ⑥ レンダリング
- ⑦ リキッドフィーディング
- ⑧ 臭気濃度
- ⑨ 卵殻強度

2. 次の二つの設問の中から一つを選び、解答しなさい。（1,600 字以内）

① 家畜の改良は、育種理論と繁殖技術によって支えられている。改良効率の指標としては、「年当たり遺伝的改良量」が比較の基準となる。年当たり遺伝的改良量は、「①選抜強度×②遺伝標準偏差×③選抜の正確度／④世代間隔」によって求められる。これら①から④までの要素の内容（意味）をそれぞれ簡潔に述べなさい。

また、次のアからエに掲げる繁殖技術が、これら①から④の要素をはじめ、家畜改良にどのように貢献しているのか、牛を対象として、アからエの繁殖技術ごとに簡潔に説明しなさい。

ア 人工授精

イ 受精卵移植

ウ MOET（multiple ovulation and embryo transfer）法（過排卵と受精卵移植を組み合わせた繁殖技術）

エ 卵分割・核移植・体細胞クローン

② 家畜の衛生管理は、家畜疾病の発生予防・まん延防止、家畜の生産性の向上、畜産物の安全確保などのために極めて重要である。農林水産省は、口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ等の家畜伝染病の発生予防のため、家畜の飼養に際して畜産農家が遵守すべき事項を「飼養衛生管理基準」として定めている。家畜伝染病の発生予防のために畜産農家が遵守しなければならない事項を列挙し、具体的に説明しなさい。また、家畜伝染病の発生予防のために普及指導員としてどう取り組むか、あなたの考えを述べなさい。

平成 29 年 普及指導員資格試験 審査課題イ 【選択項目：土壌及び肥料】

1. 次の土壌及び肥料に関する用語の中から五つを選択して簡潔に説明しなさい。

(各 200 字程度、全体で 1,000 字程度)

- (1) 土性
- (2) 土壌硬度
- (3) 弾丸暗きょ
- (4) 土壌窒素無機化
- (5) 側条施肥
- (6) ぜいたく吸収
- (7) マンガン欠乏

2. 次の設問に解答しなさい。(1,600 字以内)

農業所得の向上を図るための一環として、生産資材費の低減が議論されている。その生産資材費のうち、肥料に関わる低減方策については、①土壌診断に基づく適正施肥、②低価格肥料の利用、③未利用資源の活用、④銘柄集約等が提唱されている。これらのうち三つを選び、それぞれについて説明しなさい。

また、生産現場で実施されている省力的で効率的な施肥法について三つ挙げ、具体的な内容を述べなさい。

平成 29 年 普及指導員資格試験 審査課題イ 【選択項目：植物保護】

1. 次の用語について簡潔に説明しなさい。（各 250 字程度、全体で 1,250 字程度）

なお（１）については、必須課題として二つとも解答し、（２）については用語群の中から三つを選択して解答しなさい。

（１）必須

- ① 光や色を利用した病虫害防除技術（具体例を二つ挙げて説明すること）
- ② 耕種的防除法（病害、虫害、雑草のうち二つについて具体例を挙げて説明すること）

（２）選択

- ① バンカー法
- ② 高濃度炭酸ガスによる害虫防除
- ③ 種子伝染性病害の防除
- ④ 線虫対抗植物
- ⑤ 発生予察情報
- ⑥ 農薬飛散低減技術
- ⑦ 雑草イネ対策
- ⑧ 外来獣による被害と対策

2. 次の設問に解答しなさい。（1,300 字程度）

総合的病虫害・雑草管理（IPM）について、基本的な考え方を説明しなさい。また、薬剤抵抗性の発達原因と問題点及び薬剤抵抗性管理の考え方を IPM に取り入れるに当たっての留意点について、具体的に述べなさい。

平成 29 年 普及指導員資格試験 審査課題イ

【選択項目：労働・機械及び農作業】

1. 次の用語について簡潔に説明しなさい。（各 250 字程度、合計 750 字程度）

- (1) 騒音レベル dB (A)
- (2) ほ場作業量、理論作業量（機械の作業能率の分類）
- (3) スマート農業

2. 次の（１）労働、（２）機械のいずれかを選択し、その設問①、②の両方について簡潔に説明しなさい。（各 250 字程度、合計 500 字程度）

- (1) 労働
 - ① 農業者の労災特別加入
 - ② 熱中症が疑われる症状
- (2) 機械
 - ① 大豆播種機
 - ② 水稻や小麦などの作物生育情報

3. 次の二つの設問の中から一つを選び、解答しなさい。（1, 300 字程度）

- (1) 公道上での農業機械による事故についてリスクを分析し、あなたの地域における農業機械の公道上での事故を含めた農作業事故を低減するための今後の取組について提案しなさい。
- (2) 農業機械の大型化、汎用化、高速化等によって高能率・高効率化した作業が増える一方、水田畦畔の除草作業の多くは歩行型や背負型であるため、労働負担の大きな作業となっています。あなたの地域における水田畦畔除草作業の現状と課題を整理するとともに、課題克服のために必要な取組について提案しなさい。

平成 29 年 普及指導員資格試験 審査課題イ 【選択項目：地域計画】

1. 次の用語の中から五つを選択して簡潔に説明しなさい。

(各 200 字程度、全体で 1,000 字程度)

- (1) ワークショップ
- (2) ドローンの活用
- (3) 生活改善グループ
- (4) 生産緑地制度
- (5) 農福連携
- (6) CLT (Cross Laminated Timber)

2. 次の全ての設問に解答しなさい。(各 800 字以内、全体で 1,600 字以内)

- (1) 今日、集落営農は地域住民の暮らしを支え、地域を再生する地域経営体としての役割を与えられつつある。集落営農を新たに立ち上げるときに、集落の構成員の参加をどのように進めるべきか、具体例を二つ以上挙げて説明しなさい。
- (2) 都会の小・中学生が農業・農村体験で農家に宿泊し生活する取組が、各地で行われている。このような学校教育と連携した農家民宿を推進していく上で、教育効果という観点から受入農家が心がけるべき点を三つ挙げ、具体的に説明しなさい。

平成 29 年 普及指導員資格試験 審査課題イ 【選択項目：流通及び加工】

1. 次の用語について、農畜産物の流通及び加工の視点から簡潔に説明しなさい。

(各 200 字程度、全体で 1,000 字程度)

- (1) 水分活性
- (2) 食品の栄養成分表示
- (3) 乳酸菌と乳酸発酵食品
- (4) 食中毒
- (5) フードバレー

2. 次の設問に解答しなさい。(1,600 字以内)

我が国は超高齢社会を迎えている。農業者、加工・流通に従事する者及び消費者それぞれに占める高齢者の割合は高くなっており、この傾向は今後さらに進行していくと予想されている。このような我が国の将来像を見据えて、あなたの地域で 10 年後に定着させたい農産物などの地域資源とその加工品を挙げ、そのために必要な取組を、加工・流通の視点を踏まえて説明しなさい。

平成 29 年 普及指導員資格試験 審査課題イ 【選択項目：経営管理】

1. 次の用語について簡潔に説明しなさい。（各 200 字程度、全体で 1,000 字程度）

- (1) 試算計画法
- (2) 原価計算
- (3) 差別化戦略
- (4) 内部留保
- (5) 農業経営改善計画

2. 次の設問に解答しなさい。（1,600 字以内）

夫婦 2 人とパート従業員で施設型葉物野菜生産を行う経営体がある。現在、他産業に従事し、農業の経験や知識のない後継者が就農する意思を固めたことを契機に、株式会社化した。

このような経営体に対して、今後、経営を持続的かつ安定的に発展させるために、普及指導員としてどのようなアドバイスを行えばよいかについて、あなたの考えを述べなさい。